ふるさと栗山で輝くヒトをクローズアップ

きらり☆栗山人

地域おこし協力隊　鈴木（すずき）　敦文（あつふみ）さん

自己の対峙の中で身に付けたものづくりの世界

プログラミングは心の平静を保つ手段だった

鈴木さんは神奈川県の逗子市出身。両親共にプログラマーという環境で育ち、自身もプログラマーになりました。

両親の影響で、同じ道に進んだのかと思いきや、プログラマーを選んだ理由は、自身の心の平静を保つためだった、と語ります。「小学生の頃から精神的な病気により、多くのことにやる気が起きず、不器用であったため、一人では何もできず家族や友人の助けなしに生活することが難しい状態でした。そのような中、ものづくりは唯一やる気が起き、次第に没頭していくことで大好きになりました。いま思うとプログラマーになったキッカケとしては後ろ向きだったと感じています。」

ファブラボ栗山で地域の課題へ向き合う

高校卒業後は、機械工学の学部がある大学へ進み、プログラマーへと歩みを進めます。

しかし、プログラマーの仕事はコミュニティが閉鎖的であり、外部から評価されにくい世界に疑問を感じるようになります。プログラマーとして今後の道を思案していたところ、以前より関心があったファブラボ（栗山）の募集を見かけ、栗山町への移住を決心します。

ファブラボの活動は、自分が抱いていた違和感を払拭させる出来事が多くあった、と言います。現在は「地域課題プロジェクト」として、町民の困り事を解決しようと試みています。「人の役に立ち、手助けをしたい」と語る鈴木さん。幼少期の自分を乗り越えた手段であるものづくりと家族への感謝を原動力に、栗山で自身の道を歩みます。

プロジェクト第一弾として、町内在住の電子音楽ユニット「木箱」とコラボし、電子楽器「フレキシトーン」を製作

紹介しきれない内容は、栗山町公式 note「くりやまのおと」に掲載

毎月1日発行　令和5年6月1日発行

[発行] 栗山町　[編集] 総務課／教育委員会　[印刷] 山東印刷株式会社
〒 069-1512 北海道夕張郡栗山町松風 3 丁目 252 番地　[ホームページ] https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/
☎ 0123-72-1111 FAX 0123-72-3179　[メール] kouhoubousaijouhou-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

■「広報くりやま 8 月号」の原稿締切は 6月30日㈮まで
■ 提出先：町総務課広報・防災・情報グループ　☎ 73-7501（直通）